

2022.6.16 (木)
第40回例会
(通算3667回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「2021-22 年度下期情報集会報告会」(担当: クラブ研修委員会)
次週例会	「一年を振り返って」(担当: 理事会)

- ロータリーソング: 我等の生業
- ソングリーダー: 須藤 隆昭君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席をいただきましてありがとうございます。お食事の方はお続けください。

6月1日から始まりました10組の情報集会も無事終わりました。本日の報告会でございます。5月末に夜間例会を再開してから『野游会』、この『情報集会』と事業を立て込ませましたので、少しコロナの心配をしておりましたが、いまのところ報告は上がってきておりませんので、ホッとしているところです。また、この情報集会を今年度はぜひとも3回やりたいたと思っていたところ残念ながら2回になってしまいましたが、「充実した情報集会ができた」と聞いております。本当に皆さんのご理解とご協力をいただきまして情報集会を開けたことをお礼申し上げます。ありがとうございます。

さてこの情報集会、僕の今年度のスローガンでもありますけれども「我がロータリーを楽しむ」をテーマに話をさせていただきました。あえて「ロータリーを楽しむ」ではなく「我がロータリーを楽しむ」と『我が』を付けさせていただいております。これはロータリーに対して受身になるのではなく、自

分から積極的に楽しんでやろう。もっと言ったら、ロータリーを使い倒してやろうというぐらいの気持ちでロータリーに望んでもらえれば、ロータリーから豊かな心を得られて、結果として豊かな人生になってくれたら素晴らしいという思いでお話をさせていただいております。

僕が思う「ロータリーを楽しむ第一歩」とは、ロータリーに対する難しい議論がいろいろありますけれども、まずはそこではなく例えば午前中に「今日の例会、出席をどうしようか」と迷った時に「やっぱりみんなの顔を見にロータリーへ行こう」と思えるかどうか。またロータリーが終わった時に「よし、また来週もロータリーへ来ようか」と思えるかどうかだと思っております。

僕自身もそうですが、そのようにロータリーを楽しんでやろうと思ってロータリーに望んで行くと、だんだん雰囲気も変わってきてロータリーに対する見方も世界も変わって来るように思います。

今日の報告会でもいろいろな意見が出てくると思いますが、それをしっかりみんなで共有することによってそれぞれが今以上にロータリーを楽しんでもらい、結果として我がロータリークラブがより一層素晴らしいクラブになってくれたらと思っております。

前は、皆さんが気を使い過ぎて各グループが早回り過ぎて時間を余したということがありますので、話

したいことをじっくりと話していただければと思って
おります。

最後になりますが、先週の金曜日に釧路南クラブさ
んの40周年記念例会に招かれまして、皆さまを代表
しまして、乾杯の挨拶の任を果たしてまいりました。
途中、大きく1回嘔んでしまいましたが、無事に何と
か南クラブさんから感謝状と記念の品をいただいてお
りますので、皆さまにご紹介をして終わりたいと思
います。

この感謝状ときれいなグラスを記念にいただいてき
ましたのでご報告をさせていただきます。

それでは、今日よろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんに
ちは。幹事報告を
させていただきます。
各クラブの今
週の例会につま
ましては、お手元の
例会案内をご一読

お願いいたします。

また、釧路東ロータリークラブさんから、
2022-2023年度より例会の会場を釧路センチュリー
キャッスルホテルさんに移すということです。例会の
開催日は火曜日に変更はないというご案内が来てお
りましたので皆さまにお知らせします。

また、先週も皆さまにお伝えしましたが、皆さまの
パーソナルボックスの整理をぜひ本日もしくは来週お
願いいたします。来週の例会終了後に皆さまのパー
ソナルボックスを一度整理させていただきます。

また、パーソナルボックスの上にあります、『My
Rotary』や『ガバナー月信』の今年度分が余っており
ますので、お持ちでない方はぜひお持ちになっていた
だければと思っております。

以上でございます。

新入会員紹介 スポンサー 西村 智久君



大地みらい信用
金庫釧路支店片山
支店長の後任とし
て本日より入会
いたします吉田容
広さんをご紹介
いたします。

年齢は54歳です。同い年の奥さまがいらっしゃる
ます。お子さんは独立をされたお二人がいるそうです。
ゴルフはやりませんが、マージャンはやるというこ
とです。どなたかお誘いいただきたいと思
います。

吉田さんのロータリーは、別海ロータリーから始ま

り、釧路西ロータリークラブ、さらには中標津ロータ
リークラブと11年のキャリアをお持ちであります。
皆さま方より詳しいかもしれませんが、ここは釧路ク
ラブ、すべてのスポンサークラブでありますので、親
クラブの意地で皆さん先輩振っていただきたいと思
います。

釧路クラブには、3人の吉田さんが既にいらっしゃ
います。素晴らしい吉田さん・普通の吉田さん・どう
かなという吉田さん、それぞれ違いますのでどのよう
な吉田会になるか皆さま、楽しみに見ていただきたい
と思
います。

それでは、吉田さん、どうぞ。

新入会員挨拶

大地みらい信用金庫釧路支店 支店長 吉田 容広君



皆さん、こんに
ちは。ただいま西
村先輩より紹介
いただきました「ど
うかなという吉田」
になると思
います

が、大地みらい信
用金庫の釧路支店長としてこの4月に着任いたしま
した吉田容広と申します。よろしくどうぞお願いいた
します。

いま、スポンサーの方からもご紹介がありましたが、
実は経験だけは・回数だけはございまして、これが私
の人生で4つ目のクラブ入会となりますが、入会の手
続きから本日に至るまで、そしてこの席に立たせてい
ただけるまで、すべてが今までと全く違うような形で、
さすがに伝統と歴史のある釧路クラブさんだと感激し
ているところでございます。

これから何ができるか分かりませんが出席をす
ることで、皆さんと一緒に頑張ってもらいたらと思
っていますので、どうかよろしくお願いいたします。

新入会員へ歓迎の言葉 杉村 荘平会長

吉田君、入会おめでとうございませ
ん。クラブを代表
しまして歓迎申し上げます。

『ロータリークラブの出席は義務ではなく権利だ』と
言われております。せっかく入った釧路クラブでござ
いますので、有意義に楽しんで過ごしていただければ
と思
います。

もう11年ということなので、大丈夫だと思います
が、最初の3カ月ぐらいがなかなか大変なところだ
と思
いますが、それを乗り切ってもらえればすごく良い
体験ができてくると思
います。どうぞ頑張ってください。

所属委員会は職業奉仕委員会として、正・副委員長
がいまいらっしゃいません。西村君と尾越君がスポ
ン

サーとなります。何かありましたら何でも聞いてもらえればと思います。
どうぞよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム■
2021-22 年度下期情報集會報告會」

クラブ研修委員会 天方 智順副委員長

皆さま、こんにちは。情報委員の天方です。会長からもありましたが、6月1日からあまり時間がない中で皆さんにお忙しい思いをさせたのではないかと考えておりますが、多くの皆さんにご参加いただきました。ありがとうございます。



事前にご案内は行っていると思いますので、開催日時、場所、参加人数、誰々が参加をされましたは言わなくても結構ですので、中身だけ充実した発表をお願いします。

会長もおっしゃっていましたが、今回は時間が余ったので、公平を期するため今回はAグループからでしたが、今回は下のJグループから行きたいと思ひます。J・I・H・Gの順番で、最後がC・B・Aとなります。その都度「次は何グループお願ひします」というアナウンスはしませんので、皆さんロータリーの友情を十分に発揮していただき、すぐ登壇をしてスピーチしていただければと思ひます。

それでは、Jグループの発表者・石井さん、よろしくお願ひいたします。

Jグループ 石井 孝行君



情報集會Jグループのサブリーダーの石井と申します。トップバッターですので、手短かに発表いたします。本會合のテーマである『ロータリーを楽しむ』について冒頭、協委員長より「釧路ロータリークラブは自由なクラブです。今日は個々の楽しみ方について語り合う場にしてください」とご挨拶をいただき、おごそかに會合がスタートいたしました。

出席者7名が順番にロータリーの楽しみ方やロータリーでの思い出について発言し、時間の経過も忘れる程の活発な會合となりました。

主な発言として出た内容は、「転勤族にとってロー

タリークラブは憩いの場として始まり、例會を通して奉仕の精神を知っていった」。また「30年前のロータリークラブはすごく怖い人が多かった。クラブの規律も厳しく、昔は木曜日に仕事を入れなかった。例會出席率は100%の世界。『クリスマス家族會』も家族全員出席していた。その後だんだんと仕事優先が可能となって今に至っている」。また「お寺で『座禪會』を行い、『ボーリング大會』『マージャン大會』など楽しい思い出がたくさんあった」。『趣味を通じてロータリークラブでの友だちを増やしてはどうか』という話も出ました。「炉邊會合のような小グループの集まりは、テーマ以外の話も活発にできるので話しやすい」。また昔は『家族集會』と言って會員宅で會合を行っていたそうです。これはその會員の奥さまが大変だったという話を聞いております。「入會当初は出席率が低かったけれど、台湾へ行ってから楽しくなり、そこからロータリークラブでの人付き合いが始まった」という方もいました。「親睦委員會でのつながりからロータリークラブへの参加が始まった」。「ロータリークラブは目的ではなく手段と考える」。また「商売道具としてメリットを期待して入會すると長続きはしないだろう」という話も出ました。等々ほんの一部ですが、発表をさせていただきました。

美味しい食事のおかげでお酒も進み、會の後半では大道住職や白崎さんによる釧路の古い歴史話に耳を傾け、仏教から遊郭の話まで盛り上がりお開きとなりました。このようにテーマに沿った話とテーマから外れた話、これこそが釧路ロータリークラブの楽しさであることを体感しました。

最後に、大道住職が先代よりお寺を引き継いだ時、大変ご苦勞をされた奥さまとの會話で発言された住職の言葉で締めたいと思ひます。「だますも、だまされるも50-50」、以上でJグループの発表を終わります。

Iグループ 藤井 敬亮君



Iグループサブリーダーの藤井です。よろしくお願ひいたします。石井さんのお話を聞いていると、面白い話を用意して来なかったのではどうしようかと思ひていますが、とりあえず用意してまいりました内容をお話しさせていただきたいと思ひます。

情報集會は、6月13日月曜日つい最近、キャッスルホテルで行いました。「ロータリーを楽しむ」について、協クラブ研修リーダーより「ロータリアンそれぞれのロータリーとの関わり方と温度差があるが、それをどう乗り越えて楽しむのか。人のつながりを中心

に考えてみよう」とという言葉で始まりまして、本当に和やかに進んだと思います。

その話の内容では、「釧路ロータリーでは既に気軽な関係性がある。このような楽しい気軽な環境を育んでお互いに楽しみを見つけて行こう」という意見がございました。中には、『何鉄』かは分からないけれども「鉄道クラブをつくろう」というような意見などもありました。具体的には、「例会などに参加をする義務感が先ほどのように気軽ですけれども、どうも義務感がゆるいので例会に対しても欠席が多くなる。ゆるいがゆえにそのハードルをどう越えて出席に結びつけることができるだろうか」という問題が出されました。「きっかけがあれば、そのゆるさが楽しさに変わるのではないか」という意見がありました。またグループリーダーより「ロータリーに入会したことを例えるならば、ポルシェ・フェラーリを買ったけれど、まだ乗り方が分からない。満足感はあるが、どこまで自分を出して良いのかその振幅が分からない。やはり出席をして自分も含めたそれぞれのパーソナリティーが分かってから初めて楽しめるのではないか」という意見が出されました。「このきっかけとパーソナリティーを図るうえで『地区大会』などの遠征に参加することで、その解決の糸口となるのではないか」と話されました。他に「昼の例会において座る席が決まってしまうので、各テーブルの中に3年未満などの新人席を作ってはどうか」という意見。「同期だけが座るテーブルを作ってみてはどうか」という意見。配属された「委員会ごとのテーブルを作ってみてはどうか」という意見もありました。

清水パストガバナーから若い頃のお話なども出まして、昔の情報集会はリーダーの自宅で行っていたそうです。そのお宅の奥さまが料理を作ってもてなしていたという時代がありました。勝手に冷蔵庫を開けたり、サイドボードの高級ブランデーなどを勝手に飲んだり、そのような本当に気軽な集まりだったそうです。でも、清水先生は「基本は日本酒で、ワインはあまり飲まなかった」とおっしゃっておいりました。そのような昭和の話などから、やはり人と親しく接するための環境づくりがロータリーを楽しむことについて必要ではないかという情報集会でした。

ありがとうございます。以上です。

Hグループ 西村 智久君



Hグループより発表をさせていただきます。Hグループはやんごとなき事業によりリーダー、サブリーダーとも不在の中、臨時リーダー荒

井剛弁護士の下、少ない人数でありましたが、楽しく開かせていただきました。

まず、結論から申し上げます。ロータリーに興味を持つことがロータリーを楽しむ第一歩だ。交流が深まればロータリーに興味を持ち楽しむことにつながるという結論の具体的な4点をいまから発表させていただきます。

僕はいま親睦委員会に配属されているのですが、夜間例会を担当するというのでその打ち合わせが大変楽しい委員会になる。このようなことをみんなに味わってもらいたいということで、「親睦委員会が夜間例会を担当するのではなく大委員会単位で夜間例会を年に1回ぐらい担当してみてもどうか」をまず提案したいと思います。

2つ目に、先ほども出ましたが、「自由席は固定化につながるということで、強制的に担当委員会、50音、名前などに」。以前はありましたが、最近全くの自由席ばかりで、固定化しているということになりました。

3つ目、「地区大会などに時々貸し切りバスを使ってみるまで行ってはどうか」ということも出しました。

4つ目、これが一番面白いと思いますが、「趣味の会をたくさん発足させろ」であります。いまは、ゴルフしかないようですが、以前は田中正己さんが主催する釣りクラブもありましたし、舟木さんが主催する囲碁クラブもありました。何でもいからそのような集まりを開ければ良いと思います。これが一番良いと思いますが、「夫婦同伴可の旅行の会を立ち上げて、年に1回みんなで旅行に行こう。これを誰か企画してくれませんか」であります。そのようなことが実現すればよりロータリーを楽しむことができると考えるHグループでありました。

以上で発表を終わります。ありがとうございます。

Gグループ 得地 哉君



Gグループサブリーダーの得地です。よろしくお願いたします。

私は入会3年目ですが、この場にはなぜか4回も立っ

ています。来年はぜひリーダー・サブリーダーからは外していただきたいと思います。天方次年度委員長にお願い申し上げます。よろしくお願いたします。

それでは、発表をさせていただきます。当日は4名と少し寂しい出席者数でしたが、クラブ研修委員会より協委員長をお迎えし、肉を焼く、そして焼ける肉を食べることに忙しいながらも、とても熱い議論が交わされました。以下、さまざまな話を私なりにまとめ

す。
やはり一番重要なことは、例会や各種事業・委員会などへ積極的に出席し、より多くのメンバーと関わることだと思います。多くのメンバーと関わり、いろいろな人と親しくなることが楽しくなる近道なのではないでしょうか。コロナ禍でなかなか他人と接触できない中、途中、休会もありながらロータリーで集まれることはとても重要でありました。人は人とのつながりの中でストレスを感じたり、リラックスできたりしますが、ロータリー、特に釧路クラブは安寧の地と言っても過言ではない友情に満ちあふれたクラブだと思います。中には、「家庭で余されてもロータリーでは優しく迎えてくれて楽しい時間を過ごすことができる」という話もありました。ご本人様が実際に余されているかは分かりませんが、私自身、余されてはいませんけれども何となく分かる気もしました。

また「例会・各種事業・委員会などへ出席すること」。すなわち、自分自身が積極的に関わることによりロータリー活動の内容・役割をより知ることもなり、それによってより楽しくなっていくのだと思いました。ロータリーは、行くのがちょっと面倒くさいと思っていても行ってみると楽しい、そのような場所だと思います。ロータリーを楽しむためには、まず参加することに尽きると思います。以上のような内容でした。

私も次年度は、ゆっくりご飯を食べられますし、いろいろなテーブルに座ってたくさんの皆さまとお話をして、より一層ロータリーを楽しみたいと思います。雑ぱくですが、以上でGグループの発表を終わらせていただきます。
ありがとうございました。

Fグループ 小野 正晴君



Fグループの小野です。よろしく願いいたします。

Fグループの中村君が今日どうしても来られないということで、私、リーダーが

報告をさせていただきます。この「ロータリーを楽しむ」というテーマで会合を持ったのですが「楽しさの原点は会員同士が交流を持てる場所、もうこれに尽きる」というような話で、一言で、終わってしまいました。

「そのためにも例会にはできるだけみんな出席しよう」という話になりました。この出席について「わが釧路ロータリークラブでは、強要をしないことが良い伝統だ」と。他クラブでは、強要や無言・有言の圧力をかけている所もあるようですけれども、一方で、「欠席しがちの会員が一定数いることは決して望まし

い状況ではない」という意見もありました。欠席が続くと、結局そのご本人自身が出席しづらくなるので、出席を働きかけることも重要ではないかということです。そのためにも「会員を増やすことも大切だけれども、出席率を上げること。幽霊会員を作らないことも大切ではないか」というような意見も出ました。では、出席率を上げる。それが結果として交流を深めるためにはどのようなことが考えられるのか。どのようなことが大切かという話に移って行きました。まず1つは、「例会のプログラムが充実していることもロータリーを楽しむ上で非常に重要な要素だ」と。プログラムが友だちを増やす楽しみにつながるということが重要ではないか。その中でもやっぱり夜間例会は、ある程度アルコールも入りますので、自分をさらけ出すことで、交流が深まることもある。ただ、「4月の『通勤族フォーラム』で、かなり自分をさらけ出し過ぎて反省をしている会員もいましたので、そこは注意が必要ではないか」という意見も出ました。まさに、こうした『炉辺会合』や『野遊会』などもアルコールが入る機会になるので、ぜひともこのような機会を増やしてほしい」という意見が出ました。

2つ目は、「大きなイベント。例えば『地区大会』などを釧路で行うと非常にメンバーの結束が強まる」。主催をすることは大変だけれども準備を含めて参加することはいろいろ楽しい。また終わった後の飲み会でも交流がとても深まるということもありまして、「そのためにも、わがクラブからぜひともまたガバナーを出したい」ということで、後藤君が名乗りを上げていただいたということでございます。Fグループとして「後藤ガバナー実現のために今後結束を固めていこう」という申し合わせをいたしました。

最後に、他のグループでもあったようだけれども、「ロータリーに部活のようなものがあったとしても良いのではないかと。ゴルフは『NAYUTAの会』がありますけれども、他にいまも出ましたけれども、釣りや旅行・アウトドアなど。一部の出席者からは皆さんもう忘れているかもしれませんが『シャーロック・ホームズ部』というものを作ってはどうか」みたいな意見も出た次第でございます。

以上、Fグループの報告をさせていただきました。ありがとうございました。

Eグループ 柴崎 主税君



こんにちは。Eグループサブリーダーの柴崎です。『炉辺会合』に6名が集まりました。どちらかというとキャリアの長い方3名、そして

私やリーダーのようにキャリアの短い者が3名です。キャリアの長い方たちから先ほどのお話にあったように、田中さんの釣りクラブのお話、あるいは小船井さんからとにかく楽しかった話などいろいろ出してくれました。その中で私が「あっ」と思ったことは、その時のメンバーはみんな地元出身でしたけれども、釧路クラブにいれば転勤族、各社の支店長の人たちと交流を持てる機会があることも釧路ロータリーの集まって楽しめるいいところだなと感じをしていました。

話をしていく中で、先ほどの発表であったようないろいろな楽しかった話をしていましたが、自分は楽しんでいるのかというところがありまして、「ちょっと楽しめていない」話をさせていただきました。

リーダーの小西さんもそうでしたけれども、入会をすべしすぐコロナになって休会があったり、夜の例会がなくなったりが続いて少し足が遠のいたりしていました。しかも、昼に出て来ても『黙食』みたいな形で、「コミュニケーションを取るのに良い集まり」という話でしたけれども、自分はコミュニケーションを取ることがこんなに下手になったのかと思いましたが、そうではなく、「しゃべってはいけないという状況」があったので、ちょっと残念な感じがしています。

ただ、先日の野遊会に出席しましたが、非常に楽しかったです。さらには先日の炉辺会合もとても良いお話を聞いてとても楽しかったと感じております。

ゆるい集まりではありますが、「できる限り出席をすることが楽しむことの第一歩だ」という話もされておりましたので、今後は天気が悪いから出席をやめようかではなく、天気が悪くても出席をしているいろいろな方とコミュニケーションを取ることによって楽しめる機会が増えてくるのではないかと感じました。田中さん、小船井さん、及川さんから良い話を聞かせていただきまして大変勉強になる炉辺会合でした。これからも少し頑張ってみてみたいと思っております。以上です。

Dグループ 須藤 隆昭君



皆さん、こんにちは。Dグループのサブリーダー、須藤と申します。わがDグループも大ベテランの方がほとんどで、私とリーダーはそれほど経験がないということで、このような場でなければお話を直接聞くことがない人とテーブルを一緒にできたことが私としてはとても良かったです。

このロータリーの良いところは、全体の話の中でも普段に会えない人に会えたり、話をすることができない

人と話せたり、いろいろ触れあうことができるところだと聞き、そこに参加をした僕自身がまずそのように思わせてもらいました。

ベテランの方が多かったために歴史的な、昔はこんなこともあった、あんなこともあったという話の中で、活発に意見は交換されました。他の方もおっしゃったように「釧路クラブは、他のクラブに比べてすごくゆるやかで、仲良く、とてもコミュニケーションが取りやすい会だ」と言われて、僕はここしか知らないから分からないのですけれども、ほとんどの方がそのように言っていることから間違いなことだと改めて思いました。

個人個人の主体性や状況など、例えば僕が入った時も「仕事もちろん大事だから、大事な仕事がある時はそちらを優先して良いですよ」と言われたこともちょっと肩の荷が下りたような感じもありました。やっぱり「参加すること、出会うこと、ここへ来ることが、楽しさのひとつになっていくのですよ」と言われて、確かに来る度に知らない方と会えたり、少し親しくなった方とお話ができたりすることで、敷居が高いと思っていた当クラブが少しずつ楽しめるようになってきました。

さらに、「ゴルフの会などがあったり、夜例会の後に二次会の場所へ行ったらグッと距離が近くなるよ」と言われて、僕も入ってすぐコロナがあったりして夜例会、特に二次会は行けない状況でしたけれども、数少ないながら二次会へ行った時には本当に近くに座って「あっ、なるほど」と思うことをたくさん聞いたことがとても良かったです。

他では、例会の時の意見がありました。「言っていることがよく聞こえないことがある。音響が弱いのではないか」「マイクの音をもう少し大きくしてほしい」「文字が小さくて読みづらい」などもあったので、いろいろな配慮をしながらやっていければと思いました。

あとは「テーブルが固定化して『好きなところに座っていいですよ』と言われると何となく決まってしまうことがあった」、いろいろな意見がありましたけれどもそのような案も素晴らしいと思いました。

私が行ったお店は八千代本店で、2階は初めてだったのです。この情報集会で嬉しいと思うことは、普段に行ったことがない何となく敷居が高いと思っていた所にも気軽に行けますので、今回の10グループの中で私がまだ行っていないのは田中さんの所だけだったので、次回はぜひ田中さんの所に当たるようにと思いました。そのようなことを言う前にいつも苦勞をかけている妻を誘ってまず2人で行こうと思いました。

楽しむことは、参加したり触れあったりということで、「出席したいと思う例会が増えれば良いと思う」は他の方と同じで、私も、たくさん知り合っ

歴史や経済で活躍されてきた方のお話をこのような場で聞ける機会が増えればとても嬉しいと思いました。

以上で発表を終わります。

Cグループ 伊藤 淳君



Cグループ発表者の伊藤です。よろしくお願ひします。私は5月に入会をしたばかりでして、まだ1カ月と少しで、今回『情報集会』と

はどのような会なのかよく理解をしないまま参加させていただきました。お店に行ってから今回は「ロータリーを楽しむ」ということを考える会だと教えていただきました。

とは言っても3名+脇委員長という会でしたので、終始和やかに、通常の例会ではなかなかメンバーの方の人となりやご意見を伺う機会はないのですけれども、今回、このような機会を設けていただいたことによって、いろいろ深くその人について知ることでもでき、とても良かったと思っております。

私からは、発表と言うよりは個人的な意見ばかりになってしまうのですが、少しお話をさせていただきます。

私は30年以上、1つの会社でしか働いたことがなく、日常の周りは会社の人間だけで1日が終わっていくような毎日を送っているのですけれども、この釧路ロータリーに入らせていただいたおかげで仕事とは関係ない、いろいろな方とお付き合いができる、刺激を受けることができることが本当に素晴らしいことで、そのようなことこそ「ロータリーを楽しむ」ことだろうと思います。

それから私は転勤族なので、このロータリーがこの釧路を知る一番良い最高の場ですし、転勤をしてからもこの釧路の素晴らしさを人に伝えられるようになるように、自分自身がこの釧路ロータリーを楽しんでいきたいと思っております。

今回は「ロータリーを楽しむ」ことを考えるという場でしたが、考えるというよりは体感をするということで、私は参加させていただきました。

以上です。

Bグループ 二宮 拓人君



Bグループのサブリーダーの二宮です。今回はなかなか難しいテーマでして、当グループでは結論が

出ないことを懸念した真面目な篠原リーダーが、あらかじめ『あんちょこ』を用意してくださいました。中身は関東のクラブ会長やガバナーを務められた方のお言葉で、時間の都合でご紹介はしませんけれども今回のテーマにピッタリな非常に素晴らしい言葉が書いてありました。

集会は、冒頭から篠原さんの思惑とは全く逆に「今日の結論はこれでいいね」みたいな感じになりまして、すっかりゆるんだ雰囲気が始まりました。ただ篠原さんの次に真面目な私は、諸先輩方の会話からロータリーを楽しむためのコツを何とか汲み取ろうと必死で議論に耳を傾けましたので、その中から私なりに重要と感じたポイントを3つに絞ってお話をさせていただきます。

まず、会の冒頭は、先日の野遊会で泥酔して記憶がない方を中心に自分探しの旅と申しますか、「当日、自分が何かをやらかしていないか」を探るための情報交換で盛り上がりました。野遊会を所用で欠席してしまった私は、その楽しい会話を聞いておりました。「ロータリーを楽しむためにまずは参加しなければいけない。そして記憶を失ってみることもたまには大事である」と感じて痛く反省をしました。これが気付きの1点目でございます。

2点目です。こうしたたわいない議論だけでなく、当クラブの運営についての真面目な議論もありました。「最近、クラブの役職や例会当日の役割について頼みやすい人に依頼が集中しているのではないか」という意見がありました。「より多くの仲間をロータリーの活動に深く巻き込み、それをみんなで楽しむ点では頼みやすい方だけでなく幅広い方に積極的に声をかけるべき」といった議論がありました。

この他にもためになる諸先輩方のお話が山ほどあったのですけれども、残念ながら歴史と伝統あるこの釧路ロータリークラブの昼例会にはややふさわしくない内容も含まれておりましたので、これ以上は割愛させていただきます。

そうした話で大変盛り上がりました。このたわいない議論から二宮は一体何を報告するのだろうと大変心配そうな篠原リーダーを尻目に夜は更けていきました。

その中で、私自身が感じたことは、このように確たる結論もない議論をお酒も交え和気あいあいと行うことこそロータリーの楽しみ方のひとつではないか、これが気付きの3点目です。

なお、当日、私はサブリーダーとして先輩方の金言を一言も聞き漏らすまいと、そうした強い責任感からお酒はビール2杯で我慢をいたしましたので、次はぜひとも役回りから外していただき、後顧の憂いなく記憶をなくすくらいロータリーを楽しみたいと思った次第でございます。

以上でございます。

Aグループ 田内 康章



Aグループリーダーの田内です。よろしくお願いたします。今回の情報集会Aグループは、6月7日に今回のテーマ

「ロータリーを楽しむ」を掲げておられます杉村会長を筆頭に6名で実施しました。

まず、皆さんの意見の中で、「ロータリーを楽しむということは会員のみみんなに会いに行きたくなる」「例会に出たくなるようになること」「人とのつながりのキッカケは100名規模の釧路だからこそできること」という話になりました。

「大人の居場所として、紳士的な素敵な集まりの場と捉え参加する」という意見が出ました。その中で「楽しむためには、大変なこと面倒なことも多々あるが、楽しみを自分で探し、自ら進んで参加していくことで居場所ができる。その最初のハードルを越えられるかが重要」という話になりました。「ロータリーに入会しなければ、人のために労力や時間を費やすことがな

かった。まさに奉仕の精神を持って取り組んでいくことが大事」という話に感銘を受けました。

その一歩を踏み出すことで趣味の仲間も増えていく。羽田野さんは「ロータリーに入会をしてからゴルフを始め、今ではドブプリはまっています」。柿田さんは「自宅でガーデニングを行うことが趣味」とのことでした。クラブ研修リーダーの脇さんは「ゴルフも上手でガーデニングもすごい」という話になり、皆さんが脇さんの話で結構盛り上がりしました。

当日、脇さんは途中からの参加でしたけれども、参加されるまでは昔の武勇伝やこの例会の中でどこまで言って良いのか分からないような内容で、皆さんとても盛り上がりおりました。

最後に、柿田さんから「テーマの『ロータリーを楽しむ』は、当日の情報集会そのものではないか」とおっしゃっていただいて締めさせていただきます。

とても楽しく実りのある情報集会でした。

以上、ご静聴ありがとうございます。